

活動報告

団体名	宗教法人天理教藤広分教会
活動名	西日本豪雨の被災者のための緊急救援活動
活動期間	2018年7月～2019年3月
活動の成果	<p>7月9日にくれ災害ボランティアセンターが開設し、センターのニーズ受付等運営サポートから活動は始まりました。被災者の皆さんはボランティア受入れに不慣れですが、センターのスタッフもボランティアで未経験の方ばかりです。東日本大震災や、熊本地震でもボランティア経験を活かし、一本一本の電話を丁寧に対応し、被災して不安な中初めて電話をされる方や、全国からのボランティア志願のお電話を受けて、できるだけお越し頂けるよう努めました。おかげさまで、呉市は広島県で一番ボランティア参加者が多く、また、リピーター率も高く、多くのボランティア参加のおかげで、被災者の皆さまの喜びはひとしおでした。</p> <p>また、ボランティアの皆さんを現地へご案内するコーディネーター役をしていく中で、宿泊先に困り、中には公園で野宿をしておられるボランティアさんもおられ、宿泊支援をすぐに開始しました。のべ50人以上の方を受け入れさせていただき、その結果ボランティア参加回数も増え、成果があったかと存じます。</p> <p>支援物資も、全国から届きましたので、ボランティア団体間で融通したり、直接被災されたお宅や仮設住宅にお届けできました。活動を続ける中で、みなし仮設を支援しておられる社協さんから、物資を分けて頂けないか？という連絡も頂き、今後とも物資配布は継続の見込みです。</p> <p>今回は、広大な範囲での災害でしたので、復旧する工事会社も作業員も不足する一方で、大きな道路の復旧が優先されたため、一般家庭にはなかなか来て頂けませんでした。ボランティアで、土砂崩れの現場の応急復旧を、限られた資材でできるだけ長持ちするように行い、二次災害防止に貢献できたことも大きな成果でした。</p> <p>災害後、広島県は観光客の数が減少しました。呉市内の銭湯や食堂では、ボランティア割引や無料サービスなどが実施されており、宿泊に来られたボランティアさんにできるだけPRして、作業後の観光案内もさせて頂きました。こちら、観光産業の復興にある程度貢献できたかと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回皆さま方からのお力添えをいただき、活動するご縁に恵まれたことに心より感謝致します。</p> <p>7月7日の西日本豪雨発生後、1週間後より支援活動を開始しました、中国地方のみならず、全国よりボランティアに駆けつけていただき、不安そうな顔をしておられた被災者の方々が笑顔になって、復興に向けて取り組まれるようになる姿をたくさん見せていただくことができ、うれしく思っております。広島県は比較的災害が少なく、呉市のボランティアセンターでは、スコップも一輪車もろくにない状態で復旧活動が始まりました。一時は国道と高速道路がすべて通行止めという状態まで陥りましたが、渋滞の中大勢の方が来てくださいました。</p> <p>広島県だけではないと思いますが、ボランティア受入れに市民も慣れていなくて、泊まる場所に困るボランティアさんもたくさんおられて、現場へのコーディネートだけでなく、宿泊支援も早くからさせて頂き、皆さまからのご支援は本当に助かりました、ありがとうございます。</p>

まだまだ、災害の爪あとは消えず、仮設住宅で生活しておられる方もおられます、引き続き継続して支援が必要ですので、今後ともお力添えのほどをよろしくお願い致します。

(活動のようす)

